

{昭和34年7月20日}
第3種郵便物認可 (毎月10日発行)

広報

かわにし



948-01

昭和55年 1/10 No.257

中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎02576-8-3111)

発行 町長 根津正三 編集 総務課文書広報係 定価 1部5円 印刷 白南風社

人口の動き	
- 1月1日現在 -	
男	5,067 (5)
女	5,114 (2)
計	10,181 (7)
世帯数	2,354 (10)
() 前月比較	

暖冬のうちに迎えた新春は、さわやかさもことのほかでした。三が日、全く雪を見ないという年も、本当にめずらしいことですから、林業試験場十日町試験地で観測した過去六十年の記録によりますと、根雪の最も遅かったのは、昭和三十九年で一月十九日から。また、昭和二十四年、三十四年には一月五日からとありました。

お正月に市ノ越に登り、雪の多い川西町を見渡せたのも、また語りぐせとされるのではないのでしょうか。

1月の休日救急医

- 13日 池田 医院 (本町西)
- 15日 山口 医院 (袋町中)
- 20日 高岡 医院 (神明町)
- 27日 中 糸 病院 (中 糸)

2月上旬の予定

- 3日 大 鳥 医院 (川原町)
- 10日 山口 医院 (下 糸)
- 11日 十日町 病院 (高岡町)

厳しい社会情勢を

冷静に見つめながら

町長 根 津 正 三



昭和五十五年の新春にあたり、皆様方のご多幸をお祈り申しあげます。

今年は一昨年より、さるの強い地域社会的な群居性と、すぐれた知能を見習いながら、よりよい町づくりに精進したいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

さて、昨年の川西町は、順調な各種事業の進捗で、大いに発展をみた年でありました。

六月には、世紀の大事業といわれた一連の基盤整備

新年のごあいさつ

議会議長 平野圭二



一万三百名の町民の方々と、この新しい年を心からお祝い申しあげます。

昭和五十五年、一九八〇年代の当初において、激動を続けている世界、その中で、日

本はいかなる進路を求めべきなのでしょう。石油問題を頂点として、世界の動きは、直ちにこの

辺境の地、川西町にも響いてまいります。米の生産調整、景気、就職など予想される問題は、

事業、川西ダムの通水、二次構、国土調査事業の完了など。また、七月には、西部地区の新農構が着手されました。特に新農構は、農林業や水産業などにわたる幅広い事業が折り込まれるものですので、仙田郷の貴重な自然を生かした、ふるさとづくりが実現できるものであります。

庚塚運動場や信濃川河川敷公園の造成、千手小の校舎建設、千手保育園の改築、また、災害復旧やモデル事業、水道建設なども予定どおり推進することができました。

ところで、新年の見通しであります。国は財政再建元年ともいって、なかなか厳しいものがあり、町財政も同様でございます。転作の強化や企業の不振、物価上昇など、不安な要素はかけをひそめるとは思われません。わたしどもは、こうした厳しい社会経済の流れを、冷静に見つめながら、極力無駄や惰性を廃し、明るい豊かな町づくりを目ざしたいと考えています。皆さんの一層のごべんたつをお願い申し上げます。

極めて多いところであります。

ところで、明るく豊かな町づくりには、財源の確保が先決でございます。川西町五十三年度の決算は、一般会計で二十六億八千九百万円ですが、この中で、自主財源は、わずかに二〇%であります。

町当局、議会ともに、国県に対して一層の努力を要する次第であります。と同時に、町の生産所得の向上をはかることが、町づくりの根元でもあります。

昨年十二月に町長に答申した第三次総合開発計画は、この方針を具体的に具申したものであります。

昨年は、町民各位のご協力により、ほ場整備事業の完成、新農構事業の推進や学校の新築、社会福祉施設の充実など、住みよい町づくりは大きく前進いたしました。八〇年代の新春にあたり、力強い地方の時代を築くため、一段の努力を尽す覚悟でありますので、よろしくお願い申し上げます。

ねん きん ぶくし

現況届はお早目に!!

四月以後に生まれた人は誕生日の月に

国民年金の老齢年金(通常老齢年金含む)の支払いは、社会保険庁が毎年皆さんの生存を確認したうえで行われています。

ですから、引き続き年金を受け取るためには、年一回、社会保険庁に生存していることの証明を提出しなければなりません。

このことを、現況届(国民年金受給者現況届)といえます。

現況届は、昭和五十四年二月十五日以前から年金を受けている人は、必ず提出しなければなりません。

現況届の用紙(ハガキ)は、一か月前ごろまでに、社会保険庁から受給者あてに郵送されます。皆さんは、その用紙に住所、氏名を記入し押印のうえ、町長の証明を受けて、二月十五日までに必ず提出してください。

今回の現況届から、一、二、三月生まれの方は二月十五日までに、四月二日以後に生まれた方は、それぞれ

の誕生日の月の末日が現

況届の提出日となりました。

したがって、この人たちには、二月までに現況届の用紙は届きませんが心配なく。

それぞれ、一か月前ころには届けられることになっていきます。現況届が期限までに提出されないと、引き続き年金を支払ってよいかどうかの判断がつか

ませんので、届が提出されるまでの間、年金の支払いを一時差し止められることもあります。

なお、用紙が届かない場合には、役場の年金係に備えてありますのでご利用ください。

老齢年金を受けている人は忘れずに現況届を出しましょう。



◎忘れずと年金の支払いがおくれます。

議会報告

12/17~22日

第七回の町議会定例会は、旧ろう十七日から二十二日まで、六日間の会期で行われました。
主な審議事項は、五十三年度町会計の決算、条例改正、五十四年度の補正予算、町政に対する一般質問などです。これらのうち、決算内容については、別掲としましたので、ここでは、そのほかの主なことからをかいつまんでお知らせいたします。

特別功勞表彰に

小林申一・高橋茂雄の両氏を

まず、条例改正は

◎特別職の職員で非常勤のもの
報酬及び費用弁償に関する条例、
(冬期保安委員の報酬を月額九万
円から十万円に改正)

◎町職員の給与に関する条例
◎分担金条例 の三件です。

この議会では、町表彰条例に基づき特別功勞者として、小林申一

さん、高橋茂雄さんのお二人を表彰することに同意しました。

また、魚沼地域広域的水道整備計画に同意のほか、第二次川西町総合開発計画の基本構想についても、原案どおり可決しました。
一方、補正予算は、職員の給与改定などから、各会計にわたり行われていきます。

特別功勞者の略歴

小林 申一 (木島・五十九

歳) 町議会議員として十二年、町消防団員として三十一年間と、長期にわたり町政進展に尽力、この間、議会議長、副議長、消防団長、副団長などの要職に従事され、地方自治に多大の貢献をされたもの。

高橋 茂雄 (坪山・八十一

歳) 千手町議会議員、川西町議会議員として通算十一年、この間議長、副議長を歴任されたほか農業委、消防団長、土地改良区理事などで活躍。わけても土地改良事業には格別の情熱をそそぎ、十八年七か月にわたり理事を務められたなど、その業績が著るしかったもの。

このうち一般会計は、九千四百万円を追加して、二十六億五千八百万円となりました。
追加された大きなものは、仙田保育園の車庫建設費、新農構特認事業補助金、国県道工事負担金、道路改良舗装工事、川西中理科室改修工事、災害復旧工事費などとなっています。

一般質問

水田再編対策 などに 四議員が――

若山三郎議員 ○水田利用再編対策の取組みについて

根津町長 まもなく県から配分通知が来るが、集団転作を中心とした指導のようである。かなり厳しい内容と聞いているが、二十六日に対策協議会を開いて、少しでも有利な方法でこの消化に取組みたい。また、限度数量の配分については、共済の加入面積でなく細目書面積によっているので、ある程度公平がはかられていると思う。

登坂茂議員 ○水田利用再編対策について

根津町長 川西町の配分面積は九

十ヘクタール前後と予測している。植林とか養魚池といった永久転作については年限があるため、それらが対象からはずされた時点で、さらにこの消化が大変である。

こういう時期に、通年施行なり、排水事業などを仙田地区で有利に進めたいというのは、お説のとおりであり努力したいと考えている。

戸田専治議員 ○新制作座の公演について、○五升苗ダム建設中止に係る今後の見通し等について、

根津町長 ○新制作座の公演は、観覧者が少なく残念であった。これは、町、農協、商工会の三者が町民サービスの目的で行ったものであるが、入場料を安くした関係もあって赤字を生じてしまっている。この赤字は、三者により負担し合うことにしている。また、今後、この種のもの主権については、慎重に検討してからにしたいと考えている。

○五升苗ダムの新設は、建設費が著しく巨額になって、投資効率からも、水計算の上からも問題が多く、また受益者負担の増高は同意の点で難色があるので、県や地元関係者とも再三協議の結果、土地改良区の役員会で、新設でなく、現溜池の補強工事を申請することに決定した。そして、十月一日代表役員十名で、完璧な補強工事の早期実現を県へ陳情した。この工事でも六、七億ぐらいの工事費となるので、関係者の同意を得なければならぬ。当面五十五年度工事としては、資材運搬路の舗装と、北沢水路の改修が予定され、本工事は五十六年度から三年間ぐらい

全国議会議長会から

表彰

山野田の
田中さん

町議会議員として、勤続二十年以上に及ぶ田中与三郎さん(山野田)が、このほど、全国町村議会議長会から表彰されました。これは、同会の創立三十周年を記念し、三十年以上の長期にわたり、町村自治の振興発展に寄与された人に贈られたもので、県下では七名の人が受彰しました。

と考えられる。

特に工事期間は、川西ダムによって支障のないようにかんがいしなればならない。(質問に対し答弁がなかった点や、細部についての答弁は、後日にゆずることにした。)

滋野一郎議員 ○将来の川西町について

根津町長 将来の川西町、とりわけ工場誘致についての質問である。

町の第三次総合開発計画にもいわれているように、農業を基盤としながら、商工業の健全育成ということが望ましいことである。

経済情勢の激しい変わり方の中で誘致工場も大変であると聞いているが、雇用の促進や過疎対策などからも、工場を誘致することは

最重要の課題として取組みたい。

広域行政

をこの目で
主婦の施設訪問

インタビューは
小早川トシさん
樋口トヨさん

少しの負担で大きな仕事を進めようと、近隣の市町村が手をたずさえながら行う行政、それが広域行政です。例えば、広域事務組合の場合、消防・と畜場・福祉センターを、衛生施設組合では、ごみ処理・し尿処理・火葬場業務などが広域事業として行われています。旧ろうの一日をさいて、主婦の代表二人から、これらの施設の訪問をしていただきました。

悪臭にいとむごみ・と場の人たち

広域消防は応援体制もバツチリ!!

ごみ焼却場、し尿処理場とも、大規模な施設にまぎびっくり。まるで、工場さながらの騒音、装置なのです。悪臭が強烈に鼻をつくのは、わたしたちが不慣れなからなのでしょう。ごみの排出は、一人一日約一キログラムとか、四人家族では、毎日四キロのごみを出す計算です。中でも、多いのが紙類、次に台所くず、プラスチック関係といい、ピークは、八月のスイカ、枝豆、トウモロコシの季節だと聞きました。大きいごみは、洗たく機、冷蔵庫、テレビのほか、仏壇まであるといいます。「修理をすれば、まだまだ使えるものがある」といいます。



▶ごみ焼却場は、大工場さながらの設備が……

▼身を二分にされた、N君の列の前で説明を聞く。



▶広域事務組合の本部でそれぞれのアウトラインを伺って……



施設の アウトライン

広域事務組合

昭和四十七年四月二十日に発足、業務は、消防、福祉センター、と畜場。組合を構成する団体は、十日町市・川西町・津南町・中里村である。

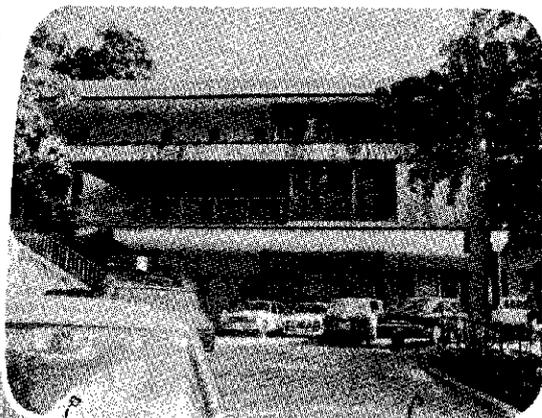
◆消防 (本部) ……十日町市に本署を置き、川西町・津南町に分遣所をもつ。総職員は七十一名。決算額は約四億五千万円。五十三年度の火災件数は二十四、救急車出勤回数は七百件。

◆消防 (川西分遣所) ……職員数十三名。年間およそ八千万円で、災害予防、消火、検査、救急業務などにあたる。町消防団員五百五十五名もこの所管。ちなみに、五十四年度の火災件数は四、救急車出勤回数は百三十八件である。

◆福祉センター御陣荘 (津南町) ……老若男女を問わず、保養、研修を目的の施設。年間利用者は一万二千八十七人、うち川西町民は二十九人。経費の負担は、地元が六〇%、残りを他市町村の人口割、均等割などで出さう。川西町は約七十四万円を負担。

◆利用者と負担割合にアンバランスがあり、目下検討中と聞く。利用料金は一人一日百五十円 (部屋代は別)。

◆と畜場 (十日町市) ……都市内の食肉は、大半ここから産出される。従事者は七名。年間と殺頭数の一万二千二百二十九頭はほとんどが豚、やぎ、牛は数え



川西町の人の利用は少ないという福祉センター



消防分遣所では、火災や救急車の出勤件数なども増って……



小早川さん

何を見ても

ただびつくり……

始めての見学だったんで、何を
見てもただビックリ。それにして
も、こういう方々のおかげで、わ
たしたちは安心した毎日をおくる
ことができるんですね。

感謝の気持ちとともに、わたした
ちでできることは、進んで協力し
なければいけないとしみじみ思い
ました。

とってもよい

勉強に……

広域行政なんて、何のことか全
くわかりませんが、今回の
訪問でもよく理解できました。
やっぱり、従事者の皆さんには
頭のさがる思いです。
こういう機会をできるだけ多く
もって、大勢の人たちから理解し
ていただけるなら、と思います。



樋口さん

「はいあります。まるで人生の縮図を見るようです」とは処理
場の人の話です。なお、ごみ出しの注意点として次のことをき
つくりわけてきました。

◎水分の多いごみは、必ず水切りしてから出すこと。
◎燃えるもの燃えないものを、絶対に混同しないこと。

さて、し尿処理の現場では、パンツや衣類の混入がとても多
いのだそうです。ですから、破砕機を使って細かくしてから、
それぞれの工程を通し、信濃川に放流するのだといいます。

でも、完全消毒、殺菌などを経て放流されるものなので、心
配ないと聞きました。

さすが、消防本部の設備類はすごいものです。火災、救急活
動は、一分一秒を争うことだけに、完備された設備と職員の規
律ある態度には目をみはります。

威容を顔つきで並ぶ工作車、はしご車、……広域行政のお
かげで、各市町村とも応援体制も完全だと聞いて安心。でも、
やっぱり、わたしたちの口ごころの心が第一ですね。

分遣所では、過去二十年の火災件数や原因も聞きましたが、
トップはやはりストープでした。注意したいものです。

分遣所では無線を、とっても重宝しているのだそうです。
非常体制や救急人を運ぶ車には、欠かせないということでした。
さて、香場は、お正月を前に大忙がしで、内部施設の見学は
できませんでした。

大型冷蔵庫の並ぶその前には、皮をはがれ、身を半分にした
たトン(豚)若のあわれな姿が列をつくりまします。そつと内部をの
ぞくと、内臓を洗う人、頭を始末する人……悪臭のただよう
中で一心不乱の作業です。

まもなく、と場に入るトン君は、身のあわれも知らずエサを
求める風情。一隅にある「獣魂碑」に思わず頭がさがりました。

津南町にある福祉センター御陣荘は、やはり距離的なことが
致命傷でしょうか。温泉あり、百畳の大広間ありのたのしい
保養施設なんです……川西町の人たちの利用が少ないこ
ともうなすけるどころです。

町にもいいこの施設がありますので、近くでジョンノビ
することの方がいいのかも知れません。

るほどだという。一頭当り千三百円のと
殺手数料を徴収するが、不足部分につい
ては市町村の負担となる。

衛生施設組合

ごみ処理は、昭和四十八年十月一日に
発足、四十九年四月一日にはし尿処理、
火葬場業務もあわせてスタートした。

組合の構成は、十日町市・川西町であ
るが、し尿処理は、松代町の委託も受け
ている。従事者は三十一人、(以下、実績、
金額等は五十三年度の数字)

◎ごみ処理……年間処理量は約二万二
千六百五十九トン、このうち川西町分は
四千七百二十六トン、(内不燃物二千七百
十三トン)。ちなみに、一トン当たりの
処理経費は、燃えるごみ……三千九十九円、
燃えないごみ……千六百三十円、経費の
負担は、十日町市八八%、川西町一二%
の割合である。

◎し尿処理……十日町市・川西町・松
代町の総人口六万七千六百七十五人中約
八〇%を処理。
年間処理量は二万六千三百四十九キロ
リットルに及ぶ。川西町はおよそ四千キ
ロリットルである。

この経費は、松代町五%、残り九五%
のうち、八八%を十日町市が、一二%を
川西町が負担する。

◎火葬場……十日町市・川西町の負担
割合はごみと同じ。

参考までに、仏様一人に対する経費は、
五十リットルの重油が必要で約三千元
(大人の場合)。現在、火葬場使用料は千
八百円の徴収である。ほかに霊きゅう車
使用料は、十キロ以内千三百円。

1万町民の家計簿

53年度の収支状況は……

(一般会計)

例年、この月には、町会計の決算の模様をお知らせしています。今年も、五十三年度の一般会計ほか六つの特別会計の決算が、先月終わりましたので、その主なことを掲載することにしました。いわば、一万町民の家計簿ともいわれるもの、その概要だけでもご理解いただけたらと考えます。

歳出の五七％は 投資的な支出

五十二年度の歳出決算額は、五十二年より四・二％も伸びる大型なものとなりました。

「承知のように、この年は、町民体育館の建設という大事業に加え、千手小、上野小などの建設が順調に行われたときです。このため、歳出のトップは教育費がしめ、決算額全体の三〇・七％となりました。教育費を前年度決算と比較すると四六・一％の伸びです。教育費に次いで大きいのは、二次構、モデル事業などを含む農林水産業費で、全体の二四・二％。以下、総務費一四・一％、土木費一〇・一％、民生費の八・四％と続きます。

これらの詳細は、歳出グラフのとおりですが、全体の特徴点は、投資的経費(建設事業等)が、全体の五七・六％をしめていることです。(五十二年は四三・八％)消費的経費は少なく、投資的経費は大きく、との健全財政の趣旨にそって、積極的に事業に取組んだのが五十二年度でした。

年々大きくなる 依存財源

歳入歳出の差引きでは、実質的な黒字が二千九百二十七万九千円となりました。

事業を積極的に進め、かつ黒字決算ということは、大変うれしくことなのですが、手ばなしで喜べない面もないわけではありません。

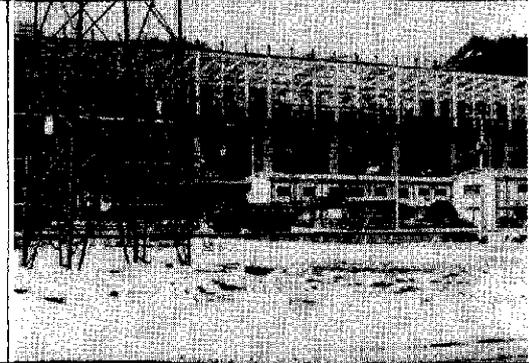
本来ですと、歳入は、自主財源の町税に大きく期待をしているわけですが、ここ数年の景気停滞を反映して、前年より一〇％程度しか伸びていません。

当然、地方交付税や国県のお金に大きく依存することになります。さらに不足する部分は、町債に頼ることになります。借金である町債が、前年より六十九％も伸びています。

黒字は出たけれども、そのかげには、大きな借金の伸びがあったというのが実態でもあるのです。



農林水産業費 391,351千円
 ▶ 基盤整備補助 5,000 ▶ 土地整備補助 2,545 ▶ 水田利用再編特別交付金 8,312 ▶ 二次構補助 33,826 ▶ 地域農政特対補助 30,264 ▶ 特産営農団地葉たばこ近代化補助 5,561 ▶ 野口集落センター整備補助 3,000 ▶ モデル町道整備 62,544 ▶ 同農村公園整備 15,740 ▶ 同排水路整備 7,222 ▶ 同防火水槽 6,330 ▶ 林道開削 40,350 ▶ 造林 43,350



総務費 378,045千円
 ▶ 町営野球場用地買収・造成 49,048 ▶ 高校校長住宅用地造成 2,500 ▶ 高校用地整備関連工事 2,229 ▶ 浦佐駐車場用地買収 5,000 ▶ 中屋敷宅地造成用地買収 3,194 ▶ 広域事務組合負担 4,810 ▶ マイクロバス購入 2,282 ▶ 仙田地区広報無線建設 21,237

式に北の湖一行を招いて

▲ 浦佐駅前に購入した町の駐車場 (鉄塔の建つ付近)

生活費 225,674千円
 ▶ 社会福祉協議会補助
 ▶ 50 ▶ 県障医療費扶助
 ▶ 99 ▶ 老人医療費扶助



▲ 保健衛生大会で婦人の貧血検査

衛生費 96,647千円
 ▶ 衛生施設組合負担 31,642
 ▶ 水道事業繰出 12,500
 ▶ 簡易水道繰出 2,500
 ▶ 各種検診等委託 4,676

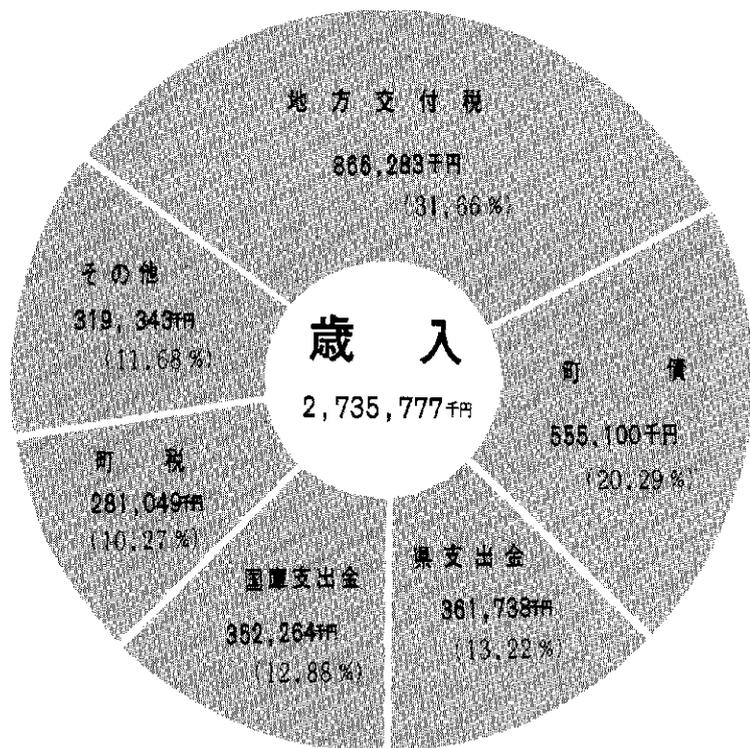
災害復旧費 182,845千円
 ▶ 農林水産施設(94か所) 107,147 ▶ 公共木木施設(34か所) 44,448
公債費 159,147千円
 ▶ 元金 67,213 ▶ 利子 91,934

消防費 80,795千円
 ▶ 広域消防負担 74,782
 ▶ 災害弔慰金(2件) 2,750
諸支出金 23,650千円
 ▶ 教員住宅譲受代金 18,650

町民1人当りは………？

このグラフは、歳出総額の1人当りと歳入のうち自主財源の1人当り金額を比較したものです。

単純な比較ですが、263,539円の必要経費中、町が自力で集めたお金、つまり自主財源は52,687円、この不足分210,852円は、地方交付税など、国や県に依存しています。つまり全体の80%が依存財源です。



▲ 県下屈指の体育館が完成。

教育費 826,633 千円

- ▶千手小校舎建設・設計 90,349
- ▶上野小屋体建設 53,270
- ▶橋小グラウンド整備 2,400
- ▶高倉小グラウンド造成 3,200
- ▶川西中床張替 18,500
- ▶同スクールバス委託 7,876
- ▶仙田給食棟建設 22,007
- ▶体育館建設・設計監理 432,323
- ▶同備品購入 17,003



▲ 川西ダムの地所

議会費

35,132 千円

商工費 16,885 千円

- ▶商工会補助 5,000
- ▶同会館建設補助 2,200



土木費 272,875 千円

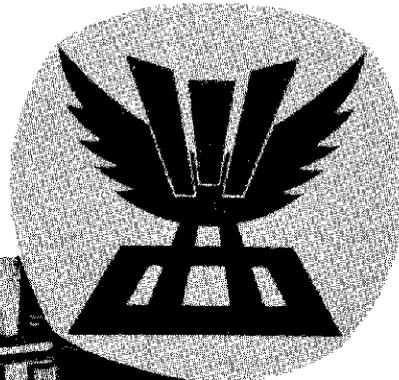
- ▶国県道工事負担 23,231
- ▶町道新設改良工事(30か所) 174,158
- ▶同関連用地買収(16か所) 2,300
- ▶同物件補償 3,133
- ▶雪害対策 18,386
- ▶南沢川改修工事 10,491



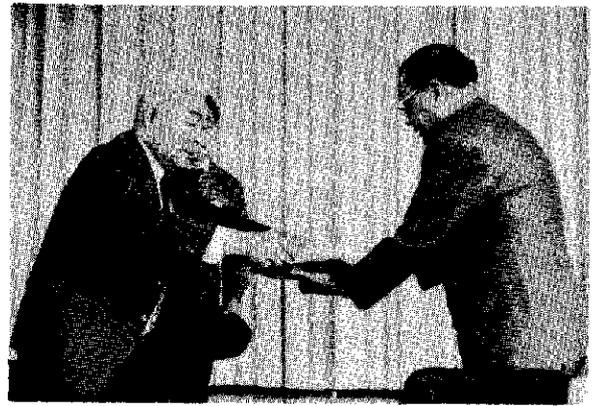
▶ 町体育協会のシンボルともなる「協会章」が決まりました。

このマークは、応募総数70点の中から選ばれたもので、制作者は神社町の春日幸子さんです。

早速、正月マラソン開会前に、この披ろうと表彰式が行われました。



▲ 分遣所職員たちが、火災予防のキャンペーンを兼ねたマラソン大会です。今年は無火災でありますように……



◀ 今年の正月マラソンは、一片の曇もない快晴の中で行われました。参加者は約三〇〇人の新年のスタートは、そう快なうちに切られました。

第3次川西町総合開発計画の答申

川西町の将来はいかにあるべきか。町の将来像を描く第3次の総合開発計画の答申が、先月8日に行われました。

これは、第1次・第2次計画の伸長と補完を含め策定されたもので、基本構想では、昭和65年を目標につくられています。

町では、いずれ機会をみて、この計画の概要を皆さんにお知らせする予定です。

ご協力を!!

二月一日に

農林業センサス

以上か、過去一年間の農産物販売額が十万円以上のどちらかの世帯（農家調査）

・農家以外で、過去一年間の農産物販売額が

十万円以上の会社、協業経営、組合等の事業体（農家以外の農業体調査）

●林業部門

二月一日現在で農林業センサスが行われます。この調査は、五年ごとに行われるもので、今年がその年にあたります。

調査の目的は、農林家戸数、土地面積、農業機械等の農林業資源総量をは握し、農政推進上や生活環境等の諸計画を策定する大切な資料となるものです。

今回の調査では、農業部門と林業部門を併せて実施することになっていきます。

実査の対象

●農業部門

・所有耕地面積十アール（二反）

・農家であって、保有山林面積が十アール以上、非農山林家であって、保有山林面積が一ヘクタール以上の世帯（林家調査）

・林家以外で保有山林面積が一ヘクタール以上の会社、社寺、共同組合等の事業体（林家以外の林業事業体調査）です。

開設 暴力団の民事事件相談窓口

《警察署から》

皆さんの中で、暴力団による借金取立て、交通事故の示談交渉などの際に、おどかさされたり、無理に契約書を書かされたりして困っている方はありませんか。

このように、暴力団の民事事件に介入した犯罪が多くなってきたため、犯罪の摘発と皆さんを守る

ため、県警と十日町警察署では次のように相談窓口をつくりました。

直接暴力団によりおどかされている方、取

立てにあった方、親せきや知人でのようなことに遭遇している人を知っている方は、お気軽にご相談ください。相談窓口のある所、十日町警察署（二二三二一内線二四〇）、広田捜査課長

○本部捜査第二課暴力団関係（新潟〇二五一・二二二四）

— 保母の募集 —

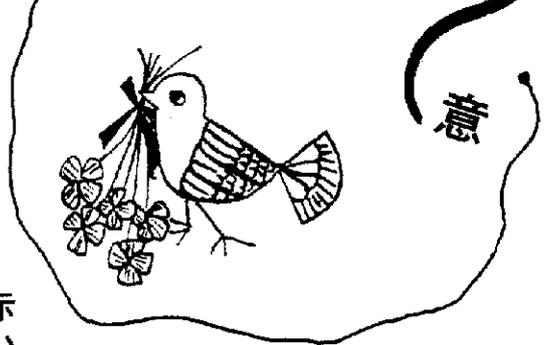
次により保母を募集します。

- ※勤務場所 町立保育園
- ※募集人員 若干名
- ※応募条件 保母資格取得者または3月中に取得見込みの人
- ※応募しめ切り 1月25日
- ※応募方法
 - 履歴書・身上書（市販用紙使用）
 - 学業成績証明書（最終学校分、在学中の人は、最終学期分）
 - 所有免許状の写または取得見込み証明書

上記各1通を役場総務課へ提出のこと。

※選考 2月中（後日通知）

歳末たすけあい ご協力に感謝



善
意

歳末たすけあい運動には、たくさんのご協力をありがとうございました。
目標額七十万円に対し、総額七十万八千二百二十円のご協力をいただきました。

赤い羽根は

一二〇%の達成率

一方、十月一日から十二月三十一日まで展開された「赤い羽根共同募金」の成果は、総額九十九万四

この中には、千円以上の寄付をしてくれた人が二十一名、ほかに、窓口募金として、四名の方から、万六千円をいただきました。
これらの温かいお金は、町内の生活保護世帯を始め、母子世帯、ねたきり老人など、二百二十七件の方々に、それぞれ配分いたしました。

香典返しなど

ぞくぞくと

千五百四十八円となりました。目標額は七十四万九千円でしたので、一二〇・八%の達成率ということになりました。
このお金は、いったん県に納入しますが、五十五年年度の町社会福祉協議会の活動費として配分されることになっています。
次のおとりたくさんの善意が社会福祉協議会に寄せられました。
※母操さんが亡くなられた南雲教さん（中仙田）から三万円。
※父利平さんが亡くなられた相崎利作さん（沖立）から三万円。
※父初太郎さんが亡くなられた羽鳥初義さん（中屋敷）から六万円。
※父愛蔵さんが亡くなられた丸山政勝さん（高原田）から三万円。
※母セツさんが亡くなられた丸山仁吉さん（下原）から五万円。
※父信治さんが亡くなられた田口博さん（木落）から三万円。
※父儀太郎さんが亡くなられた星名義一さん（高原田）から二万円。
※中仙田の龍巳ドライブインから交通安全聖観世音に寄せられた浄財一万二千円に、自己出費分をあわせ一万五千円を、交通安全のためにご寄付いただきました。

勤労学生の募集

— 十日町高校 定時制から —

十日町高等学校定時制では、いま、働きながら学びたいと意欲にもえている人を募集しています。現在、百三十名の生徒が勉学に励むこの定時制は、これまでに三千九百二十名の卒業生をおくり出した伝統ある高校です。
一般的な教養を身につけたいけれども、勤務その他の都合で昼間

登校できないという人は、この定時制高校へ通学されてはいかがでしょう。

☑ 募集人員 四〇名

☑ 願書受付 二月一日～二月七日まで

☑ 出願手続き 入学願書、調査書を出身校経由で提出のこと。

☑ 試験日 三月十七日

☑ 就業年限 四か年

詳細は十日町高等学校定時制中心校（二三三七七）までどうぞ。

新しい嘱託員

〔千手地区〕

（敬称略）

- 中島町・小林義春、○ 山野田・田村才一郎、○ 発電所通り西・田中軍平、○ 発電所通り東・田村一男、○ 永久公舎・清水利和、○ 栄町・南雲一郎、○ 山野田住宅・関口直平、○ 朝日町・小柳正義、○ 四郎兼・平野卓臣、○ 東善寺・高橋一男、○ 上町・平野正義、○ 中央町・柄沢光雄、○ 田中町・太田治平、○ 神社町・杉山茂、○ 学校町・五十川庚平、○ 中屋敷・高橋藤吉、○ 寺尾・南雲信治、○ 木島中条平吉、○ 沖立・柄沢徳二、○ 伊友・村山義雄、○ 高原田・丸山政勝、○ 坪山・中村清吉、○ 霧条蔵品完三、○ 鶴吉・田村又司、○

木島公舎・藤田哲也

〔上野地区〕

- 三領・高橋信一、○ 小根岸・小海梅太郎、○ 教員住宅・根津芳雄

〔橋地区〕

- 木落・小幡正、○ 寺ヶ崎・星名兼松、○ 塩辛・藤巻博、○ 仁田・水落則吉、○ 野口・村越家利、○ 原田・丸山康一、○ 根深・丸山和徳、○ 下平・田中義勝

停電のお知らせ

・ 1月17日（木）／午前9時～午後1時まで、赤倉・岩瀬・大倉・大白倉・小白倉。

心配ごと相談

- 1月23日……総合センター
- 1月30日……
- 2月6日……上野連絡所
- 2月13日……橘出張所

55年の農業賃金

これは、四月、日からの町の農業賃金です。あくまでも標準賃金です。地区の事業などにより変更もありません。

※男子(一日) 四、七〇〇円
 ※女子(一日) 四、〇〇〇円



ふもるごと遠望

心にしみる方言

〃ヨイヤラサ〃も大切に

佐倉市 松 沢 英 夫 さん(四十六歳)

出身 上野 離町 昭和27年

〃おぼんでございます。〃

文字で書き表わすとごくあたりまえのことですが、あのしり上がりの親しみのあるいいまわしー、いいですねエ。

私は仕事の関係で地方への出張が多く、その地方の土地の人と話す機会が多いのですが、実にいろいろなことばづかいがあります。私はこの方言がとても好きです。

東京は、全国各地の人たちの寄り集りといってもいいのですが、ここでも、この方言にあることがあります。とりわけ、生まれ育った川西町の方言は、それらと比較して丁寧なことばづかいだと感じます。私も田舎で育った十八年より

東京へ来てからの生活の方が長い者ですが、子供のころ身についたものはなかなかとれません。

相手の話す方言まじりのことば、なまりやアクセントなどから、話しているうちに相手の出身地方がだいたいわかります。テレビを始め、ややもすればうすれがちになり、全国画一化されつつあることばづかい、方言が減っていくのが寂しい気がしてなりません。私のエゴでしようか。

〃方言は郷土の通行手形なり〃と昔よりいわれてきました。後々まで話し継がれていってほしいものです。大切にしておきたいものに、天神ばやしや盆踊りの〃ヨイヤ

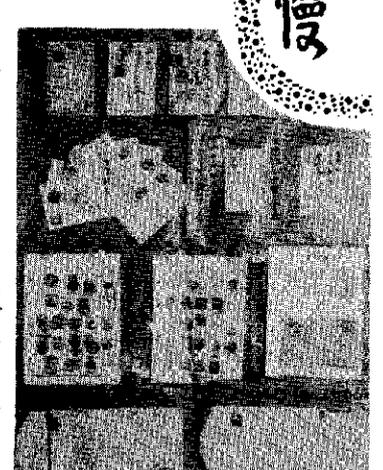
お詫び

前号、南口康夫さんの文章の〃一九八八年〃という年代表示がありました。これは〃一九七八年〃のあやまりでした。訂正してお詫びいたします。

わしの自慢

時代の流れを知る楽しみ ハガキの収集

赤谷 登坂 麦平 さん



▲ 収集した古ハガキや 記念ハガキの一部

お正月には、おめでたい話の持ち主を、と目ぼしをつけていたのであるが、伺って見たらもう現役をしりぞかれたという。しよぼくれながら、ふと立ち寄ったところが、赤谷の青山商店である。なんとおなしに話題を進めると、〃オラうちに古いハガキがあるが見ていがねエか。〃という早速、飛びついたのはいうまでもない。

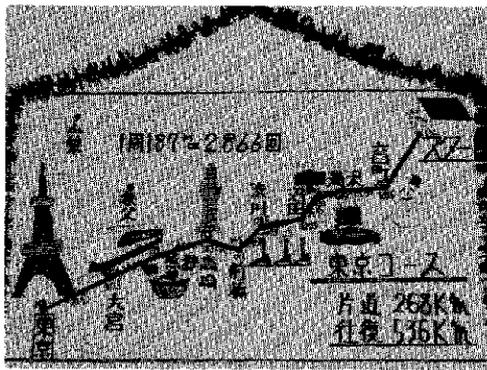
物好きがいたものである。切手の収集者もあっても、古はがきを集めるというのはあまり聞かない。仙田村役場に勤めていた登坂さんが、焼却寸前のものをもらい受けて保存に努めたのが収集の始まりという。

一枚一枚を丹念に見ると、大きさといい金額といい、絵模様といい、いずれも、その時代を反映するにたるものばかりだ。最も古いものは、一枚一銭、明治十六年の消印がある。明治、大正、そして、最も数の多いのは、昭和に入ってから、戦中のものでみた。縦十二センチ、横七・一センチ、値段は五銭の表示がある。

今年、郵便料金の値上げが予定されている。収集の楽しみは、時代の推移を知るとともに、その人の人生を記録することでもあるのだろう。記念切手の収集にも余念のない登坂さんである。

町内 さんぽ

東京コースの完走者も —マイペースで楽しむ 室内マラソン—



町の体育館で、室内マラソンが行われているのをご存知でしょうか。始まってから、もう八か月余りたちましたが、とっても好評で、十二月末までに予定のコースを完走した人が、四人あらわれました。

この室内マラソン、ルールを説明してみますと、一周一八七メートルの室内トラックを利用し、自分のかさず走ることが望ましいのですが、それぞれ都合がありますので、可能な限り、早く長距離をかけるというものです。

この積み重ねによって、弥彦コース・五〇キロ(トラック八〇二周分)、長野コース・二二五キロ(一、一五〇周)、東京コース・五三六キロ(二、八六六周)、大阪コース、一、〇六九キロ(五、七七一七周)、を走った(いずれも往復)ことになりま。いずれのコースも走り終えたときには、その努力をたたえ、賞状がおくられます。

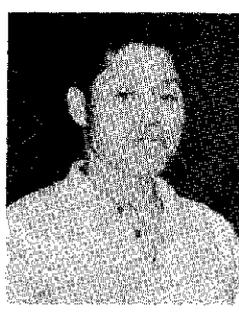
ところで、これまでの最高記録は、中村一郎さんの東京コース完走、次に川崎信夫先生が続きます。今もマイペースで走り続けるこの人たちですから、その後かなり記録が更新されているにちがいないありません。

今はこちらと中断している人、新規に始めたいといった人の奮起の一助に、と完走者の声を聞いてみましたのでごらんください。

(おことわり、十二月中旬に弥彦コースを完走した高橋進さん(坪山)については、都合でインタビューできませんでした。)

一日三〇周・とても快調

坪山 中村一郎さん(46歳)



長野コースが終了したのは七月の初めです。もうあと二十周で東京コースも完走するんですよ。エエ、快調ですね。ほとんど毎日走

っています。一日のノルマは二十周を二十五分で走ることです。そして、そのあとは、トレーニング室でバーベルをあげたりけんすいをしたり……。おかげで、七十五キロもあった体重が、今は六十キロ、腰も九センチほど細くなり、自分の体がうそのように軽くなりました。

最初はやっぱりきつかったですね。でも、体力づくりを目ざし、たばこもやめ、酒もあまりやらないようにして頑張ったかがあります。これからは大阪コースへの挑戦です。エエ、ずっと続けますよ。

ジョギングなら 長続きします

学校町 川崎信夫さん(54歳)



オレんのを見て子供たちは地固めみたいだといま。マラソンというよりジョギングなんです。力んで走ると疲れも多くなり、自信も失いがちですが、ジョギングというのは、

気楽に、話合いながら走る程度のもので、長続きもし、体力づくりになります。

先日、若い女の人が二、三周で弱っていました。が、わたしといっしょに走ったら、いつの間にか十五周もまわっていたんですよ。一周を一分くらいで走ることです。

わたしが長野コースを終えたのは七月半ばでした。一日に二十周まわったり、五十周もまわったりするという不規則な走り方ですが、いくら時間をかけても、大阪コースは完走します。

女高生の声援に感激して

木島 山賀春枝さん(56歳)



マラソンを始めた目的は、節黒城まで歩いて登ることと、美容と健康を考えてのことだったんです。

わたしが、弥彦コースを完走したのは九月だったんですけど、十月に駆け駆け大

会がなかったんですね。とっても残念でした。

一日当りの平均は、十五周くらいでしょうか。主人の迷惑にならないような時間帯を選んで走ったんですけど、一人ポッチで走るときもあって、そんなときは、とっても寂しいものでした。

女子高校生の声援を受けて、とっても感激しながら走ったこともあるんですよ。スポーツをやっているときの応援って、本当に大切なことなんです。今はちょっと休んでいます。また走りたいと思っています。

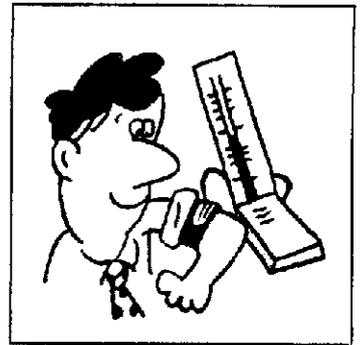
くまのこころ

血圧の正しい知識

シリーズ……①

今年のくまらしとけんこうは、循環器の働き、疾病・予防リハビリテーションなどのシリーズものを計画しています。

循環器とは、心臓から血液をおくり、血管を通じて各臓器に栄養素をおくり、不用物を処理して心臓に帰る血液の流れの経路を総称しています。



つています。

この最大血圧と最小血圧の差を脈圧といい、男女とも四〇〜七〇ミリ前後で、年齢とともに少しは大きくなってゆきます。

正常血圧とは……

心臓から血液をおくり出すとき、血管の内壁にかかる圧力のことです。この圧力は、いろいろの原因によって決められますが、中でも一番重要なことは、心臓からおくり出される血液の量と末梢血管の抵抗です。

最大血圧とは、心臓が収縮して血液をおくり出し、強く血管壁に圧力がかかったときです。

最小血圧は、心臓が拡張しているので、血管への抵抗も小さくなる

健康な人でも、一日に二〇〜三〇ミリくらいの変動があり、血圧の高い人はそれ以上に変動が大きくなりやすいのです。

ですから、血圧を一日一回は

かっただけで、昨日よりあがったとか、さがったと一喜一憂しても、害こそあれプラスになることはありません。そのときどきの経過の中で、正しく受け止めることこそ、血圧をコントロールする第一歩です。

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

関口 弘宣 眞人 長男 神社町
山本 有紀 忍 長女 仁田
高橋 麗史 幸司 長男 沖立
藤巻 貴士 日出男二男 塩 辛
川崎 康平 孝一 二男 越ヶ沢
木村 優一 恭一 長男 中仙田

たかさこ—こ円満に

◎新郎 野澤 誠一 野口
◎新婦 星名 英子 沖 立から
◎新郎 小川 直行 岩 瀬
◎新婦 中條 洋子 岩 瀬から
◎新郎 桑原 富夫 大白倉
◎新婦 近藤 清美 小国町から
◎新郎 水品 茂木 上野
◎新婦 西川八重子 静岡県から

昇天—こめい福を祈る

◎新婦 窪田 正巳 伊友
◎新婦 池田 薫 十日町市から
◎新婦 山口 一男 仁田
◎新婦 水品 ミツ 霜 条から
◎新婦 佐藤 数義 小脇
◎新婦 山口千枝子 長崎県から
◎新婦 小林 重則 木島町
◎新婦 番場 明美 長岡市から
◎新婦 太田 伸昭 中央町
◎新婦 下村和歌子 熊本県から
◎新郎 田村 幸吉 室島
◎新婦 岡本 陽子 愛媛県から

江口のぶい 小白倉 六二
中川 浚治 仁田 七三
樋口 幸治 中仙田 七三
田口 信治 木落 七四
丸山 愛藏 高原田 七六
星名儀太郎 高原田 七八
高橋 仙治 中仙田 八二
保坂 竜三 沖立 八七



かわにし 俳壇

太田白南風選

中屋敷 山賀 芹子
括られし枝の冬芽の紅きかな
育ちゆく冬菜のありし明るさよ
沓脱ぎに石踏の花咲く構えかな
花八つ手静かに赤子眠りけり

上野 入沢 宏子

紅梅の一鉢を買い年の暮

短日の時雨る、ことの多くして
冬の日の淡々とある昼下り

大倉 金子 洋石

初茶の湯雪さらさらと障子掃く
門松に影新しき朝日さす
元日や閑けき里の朝煙

赤谷 高橋 与平

散り敷いた落葉打つ音初あられ
仏具まづ磨きをるなり大掃除
霊峰の見えし朝晴れ午後雪に

庁内人事

長谷川千代松 赤谷 八七
丸山 セツ 下原 八八

12月の交通事故発生件数

件数	死者	傷者	死傷者	酒気おび	酒
2	0	2	2	1	1
(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)
19	25	3	4	19	26
(22)	(26)	(1)	(1)	(26)	(26)

()内は前年比較

※配置換え／十二月十六日付
建設課長・田口一朗（産業課長）
企画室長・南雲春雄（建設課長）
産業課長・水品忠雄（教委庶務課長）
長、教委庶務課長・押木良作（農委事務局長）、農委事務局長・須藤良平（企画室長）

三領 高橋たかし
笹鳴の里に下り来て雪近し
暖冬の師走の雲の動きをり
新春雑詠

選者 太田白南風

新しき山毛榎梢を焚き初かまど
一煙り上げて燃えつき初かまど
扁額の喜心の二字上成をつぐ
初電話慰の妻にかかり来し
新しき畳にありし初日影
屠蘇少し老いぬることも好もしき